

東日本大震災復興支援活動

2015年3月28日 活動報告



地元ふれあいセンターで「JA 鶴岡春祭り」を開催。

JA 鶴岡では3月28日(土)、復興支援活動として東松島市新東名地区ふれあいセンターを訪れ、JA 鶴岡春祭りを開催し、初参加者2名を含む総勢7名が参加しました。

今回の活動はJA 鶴岡労働組合と共催で行い「もちつき大会」とおもちのふるまい、野菜や生産者から提供されたお米が当たる「JA 鶴岡農産物抽選会」を企画しました。先着80名様へつきたてのあんこ餅、きな粉餅をふるまい、わずか1時間足らずでなくなるほどの盛況ぶりでした。

春祭りに参加した女性は「来てくれるだけでありがたい。これからは恩返ししていきたい。」と話してくださいました。

5月30日には震災から4年2ヶ月ぶりに仙石線が全線開通となるなどハード面の復興は徐々に進んでいます。

一方、震災直後から生活を立て直すために大人同様我慢を強いられた子供達の心に疲れがはじめていると話して下さり、ソフト面の心のケアが今後の課題とおっしゃっていました。

交流後には慰霊碑に手を合わせ帰路に着きました。

今年度最後の復興支援活動が無事終えることができ、ご協力いただいた沢山の方々に、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

【参加者】鈴木 大亮、菅原 正成、佐藤 浩市(総合企画課)、石井 彩音、金内 恭子、木下 由香(本店営業課)、長谷川 篤夫(大泉支所)